



市章

真庭市議会広報

第78号

令和6年[2024年]
11月1日発行

まにわ



議場 開会前

2億円基金を創設

市内高校魅力化に
果敢に取り組む

市内の高等学校での学習
機会の確保と多彩な学びの創
造を図り、真庭市で学ぶ者の
成長と夢の実現を市民と共に
後押しする事業に充てるため、

真庭市ゆめ学び創造基金を
設置し、予算2億円を
可決しました。

▼真庭高校



勝山高校

7月
24日開催

臨時会

臨時会とは、定例会以外に必要な
場合、特定の事件に限って
審議するため招集される
議会



蒜山校地

北部クリーンセン
ター
解体工事

- ・廃棄物処理施設集約事業
- ・契約方法指名競争入札
- ・契約金額 4億9,610万円
(消費税含む)
- ・契約相手 梶岡・三木・大和 特定建設工事
共同企業体代表者 梶岡秀成



真庭北部クリーンセンター

請負工事
可決契約

- ・廃棄物処理施設集約事業
- ・契約方法指名競争入札
- ・契約金額 3億2,890万円(消
費税含む)
- ・契約相手 梶岡・金平・醍醐 特定建設工事企業
体代表者 梶岡秀成



真庭市し尿処理施設旭水苑 処理棟内

旭水苑 解体工事

市内高校5つ(真庭、久世、落合、勝
山、蒜山)の同窓会から県立高校再編整
備の請願があり採択しました。これを受
け会派代表(中尾哲雄、氏平篤正、柴
田正志、庄司史郎)が議員発議を行い全
会一致で可決。真庭市議会から意見書を
県知事、県教育長、県議会議長へ提出し
ました。意見書の内容は①さらなる魅力
化の検討を最優先で行う事②スケジュー
ルありきの拙速なアクションプランの策定
は行わない事の2つです。

意見書を県へ提出
市内高校5団体から
の請願を採決



QRコードから各班の報告、アンケート結果をご覧ください

11年前に議会報告会+市民と語る会を開始
そして市民と語る会となり
今年から市民と語ろうにしています

ざっくばらんに 語ろう 12会場 66人

2024

MANIWA



- ①久世エスパスセンター
- ②樫西コミュニティハウス
- ③湯原ふれあいセンター
- ④英賀老人憩いの家
- ⑤中津井陣屋
- ⑥美甘振興局
- ⑦川上コミュニティセンター
- ⑧勝山文化センター
- ⑨天津老人いこいの家
- ⑩中和デイサービスセンター
- ⑪下河内コミュニティハウス
- ⑫目木勤労者研修センター



「どつくばらんに語ろう」

総括

議会運営委員会 委員長
岩本 壮八

市民の皆さんと議員が膝を交え、市政や地域課題などについて議論を交わす貴重な機会として始めた真庭市議会「どつくばらんに語ろう」は、名称も変えながら今年で八回目となりました。7月下旬から8月上旬にかけて、市内12か所で開催しましたが、連日の猛暑にも関わらず多くの方に足を運んでいただきありがとうございます。

市政全般に関することや身近な問題など多岐にわたるご意見・提言をいただきました。今後より多くの方にご参加いただけるよう、議会に関心を持っていただけるよう努力してまいります。



◎岩本壮八 ◎伊藤義則
加藤大悟 妹島弘和
福島一則 柴田正志



班長 伊賀基之

一班は、河内小、米来小、中津井小学区に伺いました。多く出された意見は、人口減少・子どもの少子化問題。市の「こどもはぐくみ応援プロジェクト」などで子育て支援を説明するが、「いつ真庭を出ようかという若い母親もいる」という厳しい意見も出されました。「こどもまんなかまつり」で有料のものがあつた。保育園の隠れ待機もあり、一時保育も実施してほしいという切実な声もありました。

いつ真庭を出ようか
という若い母親もいる



◎伊賀基之 ◎中尾哲雄
小田康文 妹島弘和
森脇正和

用水路の管理、市道の草刈りなど高齢化で地域が担ってきたことができなくなっている現状も出されました。市内高校の存続や姫新線の存続問題では、市の取り組みを評価する意見もあり、議員も励まされました。他にも多くの意見・要望を聞かせてもらいました。今後の議会活動にしっかりと生かしていきたいと思っています。



班長 緒形 尚

開催が真夏の猛暑の中で、参加者が少なかつたことは反省材料かと思っています。

その中で2班は、中和小学校区、檜田小学校区、天津小学校区の3会場に伺いました。市民の方々と議員が意見交換を行い、真庭市の将来について共に考える場となりました。

道路の拡張、有害鳥獣対策、便利な交通手段、高速バスの復活、空き家の解体補助の拡充、蒜山風の葉、JR西日本株購入、久世校地跡地活用、議員定数削減等々、多くの意見をいただきましたが、丁寧に分かりやすく回答することができました。

市政の課題や市民の意見を把握でき、市政及び議会活動に反映させていきます。



◎緒形 尚 ◎古南源二
伊藤義則 妹尾智之
西田文子 福島一則

美甘は消滅を危惧、空き家は多い、まにこいんチャージ機無し、市長に県の仕事・国が悪いと逃げられていた議員は追及しろ。3人で150分話したが3人とも喋り足りなかつた」と記載。

美甘、エスパス、英賀、
どこも2時間半

班長 氏平篤正

久世エスパスは障がい福祉の対応、漬物工場に補助、若者の意見を尊重、資格取得、中学生は希望を抱いて他市に行く。姫新線存続、蒜山の新しい建物の経済効果。男子高生の前向きな意見が嬉しかった。



北房英賀は仕事無い、限界集落、市の防災体制が弱い。アライグマが出現危険、水質問題、議会に女性・若い人を。個人が15ページ資料を作成配布。どこも市長議員が頑張っている話は無し残念…。

北房英賀は仕事無い、限界集落、市の防災体制が弱い。アライグマが出現危険、水質問題、議会に女性・若い人を。個人が15ページ資料を作成配布。どこも市長議員が頑張っている話は無し残念…。



◎氏平篤正 ◎岩本壮八
黒川 愛 長尾 修
森田敏久 吉原啓介

猛暑、農繁期、広報の不備などで
少人数参加

班長 入澤廣成

今年の「どつくばらんに語ろう」は7月20日から開催しましたが、大変暑中参加いただきました皆様、ありがとうございます。本来なら、農繁期も終わり晩秋から始まりますが、来年度、議会改選のため次期を早めました。

今回の「どつくばらんに語ろう」を振り返れば、猛暑、農繁期、広報の不備など少人数参加でした。参加者を増やすためには、小学校区の中でもっと範囲を狭めて集会所、コミュニティハウスでの開催をと思っています。

我々議員は多くの皆様の意見を拝聴して、市政及び議会活動に反映させてまいります。今後とも多くの皆様の参加をよろしくお願い申し上げます。



◎入澤廣成 ◎加藤大悟
浅野和昭 大月説子
柴田正志 庄司史郎

9

令和6年9月第4回真庭市議会

MANIWA
G IKAI

月定例会

会期9月3日～9月26日

9月議会の会議録は12月上旬、ホームページ
及び議会事務局で閲覧できます【主な内容】
今回の一般質問は15人

- 議案12件を可決
- 補正予算2件を可決
- 人権擁護委員3名を同意
- 決算12件を認定
- 請願1件を採択
- 予算委員会と決算委員会を開催

令和6年度
9月補正予算13億8,911万1千円を可決
一般会計補正後 368億5,107万円

	9月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	13億4,711万円	368億5,107万円	5.1%増
特別会計	-	124億9,063万円	-
公営企業会計	4,200万円	78億6,159万円	2.4%増

令和6年度補正予算会計別集計表

単位:万円

会計名	9月補正額	9月補正後予算額
一般会計	134,711	3,685,107
国民健康保険特別会計	0	492,868
後期高齢者医療特別会計	0	93,943
介護保険特別会計	0	638,272
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	0	5,447
浄化槽事業特別会計	0	4,212
津黒高原観光事業特別会計	0	2,835
クリエイト菅谷事業特別会計	0	764
温泉事業特別会計	0	10,722
特別会計合計	0	1,249,063
水道事業会計	4,200	228,906
下水道事業会計	0	375,498
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	0	181,755
公営企業会計合計	4,200	786,159
合計	138,911	5,720,329

一般会計 主な歳出

9月20日
予算審査特別
委員会を開催

人口減少対策 高校魅力化 森の芸術祭

13億8,911万円増額

可決した主な予算

1 人口減少対策

- 移住・定住促進プロ
モーション事業

500万円

- ふるさとまにわ新ラ
イフステージ支援事
業

300万円

- 住宅政策推進事業

299.2万円

- さとやま文化創造事
業

249.5万円

2 高校魅力化

- 農業振興調査研究
事業(OPV実証)

127.2万円

- 地域創造創出事業

1500万円

3 森の芸術祭

- 観光再始動事業

759.3万円

- 市内SDGs交流事業

625.2万円

コスモスクリーンセンター

解体工事負担金 — 9億618万円

コスモスクリーンセンター



指定管理者が決まる

【二川みらいづくりセンター】

施設名Ⅱ二川みらいづくりセンター

指定先Ⅱ（一社）二川コスモヴィレッジ（非公募）

指定期間 令和7年4月1日から令和10年3月31日まで（3年間）



二川みらいづくりセンター内のマンガ館 種

【真庭市湯原保健福祉センターほか2施設】

施設名Ⅱ真庭市湯原保健福祉センター・真庭市八束老人福祉センター・真庭市中和デイサービスセンター 指定先Ⅱ社会福祉法人真庭市社会福祉協議会（非公募） 指定期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）



湯原保健福祉センター



八束老人福祉センター



中和デイサービスセンター

条例の改正

【真庭市スポーツ施設条例の一部改正】

北町公園の改修に伴い、機能を維持するための一時的な代替施設として旧真庭高校久世校地の体育館及び武道場を使用するため、条例の所要の改正を行うものです。



旧真庭高校久世校地武道場

【真庭市火葬場条例の一部改正】

休止している真庭北部火葬場を解体するため、条例の所要の改正を行うものです。



解体される北部火葬場 蒜山初和

市道、1,211.2 kmに

道路改良を予定している1路線、県道の改良工事に伴う移管1路線及び地域住民が生活道路としている農道等5路線について、市道に認定。市道定藤田線において、渡橋の撤去に伴い起点を変更。これにより、真庭市市道の総延長が、1,211.2 kmになりました。



県から移管された市道 下河内

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員3名が任期満了となることに伴い、法務大臣に対して、同委員の候補者を推薦するに当たり、人権擁護委員法の規定により議会の意見を求め3名の推薦を決定しました。（敬称略）

井元百合子 真庭市田原
大盛陽子 真庭市黒田
中島善子 真庭市蒜山下和

請願

地方財政の充実・強化に関する請願 **【採択】**

2025年度の政府予算と地方財政の検討にあたり、日本全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう、意見書を国の関係機関へ提出を求めるもの。審査の結果全会一致で採択し意見書を衆参両議長など9人に提出しました。

人権擁護委員とは、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広めたりする活動をしている民間の方々です。

法務大臣が人権擁護委員を委嘱するに当たっては、まず、市町村長が人権擁護委員にふさわしい地域の候補者を選び、議会の意見を聞いた上で法務局へ推薦します。そして、法務局において弁護士会及び人権擁護委員連合会に意見を求めて検討した後、法務大臣が委嘱します。

決

令和5年度



算



決算審査特別委員会は、9月10日の本会議で付託された令和5年度真庭市一般会計決算の認定のほか、特別会計、企業会計、計12件を9月18日、19日に審査しました。その概要をお知らせします。

一般会計歳出決算額343億8,812万円 20億3,248万円の黒字

一般会計と特別会計の決算状況
令和5年度の一般会計及び特別会計を合わせた決算額は、歳入488億9,935万円、歳出466億4,708万円であり、差額は22億5,227万円の黒字となりました。一般会計、特別会計、企業会計決算12件はいずれも認定となりました。

一般会計歳入一覧表 (単位:万円)

款	収入済額	構成比率
市税	513,338	14.1
地方消費税交付金	102,599	2.8
地方交付税	1,460,128	40.1
分担金及び負担金	19,336	0.5
使用料及び手数料	31,597	0.9
国庫支出金	435,261	12.0
県支出金	155,970	4.3
繰入金	121,111	3.3
繰越金	196,825	5.4
諸収入	58,837	1.6
市債	410,157	11.3
その他	136,901	3.8
合計	3,642,060	100.0

一般会計歳出一覧表 (単位:万円)

款	収入済額	構成比率
議会費	22,690	0.7
総務費	436,013	12.7
民生費	863,363	25.1
衛生費	397,772	11.6
農林水産業費	221,997	6.5
商工費	76,281	2.2
土木費	266,223	7.7
消防費	136,860	4.0
教育費	385,944	11.2
災害復旧費	6,503	0.2
公債費	517,995	15.1
諸支出金	107,171	3.1
合計	3,438,812	100.0

特別会計歳出 122億5,897万円 2億1,778万円の黒字

特別会計歳入一覧表 (単位:万円)

区分	歳入決算額
国民健康保険	493,267
後期高齢者医療	77,560
介護保険	650,363
介護保険(介護サービス事業助定)	5,262
浄化槽事業	4,659
津黒高原観光事業	2,926
クリエイト菅谷事業	932
温泉事業	12,906
合計	1,247,675

特別会計歳出一覧表 (単位:万円)

区分	歳出決算額
国民健康保険	490,388
後期高齢者医療	77,444
介護保険	633,100
介護保険(介護サービス事業助定)	5,131
浄化槽事業	4,552
津黒高原観光事業	2,917
クリエイト菅谷事業	932
温泉事業	11,433
合計	1,225,897

3つの企業会計

[資本収支の掲載は省略しています] (単位:万円)

国民健康保険 湯原温泉病院事業会計	事業収益	143,838
	事業費用	144,269
水道事業会計	事業収益	133,910
	事業費用	115,935
下水道事業会計	事業収益	174,009
	事業費用	172,254

監査委員からの意見

市の財政状況についてみると、経常収支比率は93.4%で、前年度に比べ1.7ポイント上昇し、財政力指数も0.292となっている。また、実質公債費比率は10.9%で将来負担比率は前年度に引き続き、充実可能な財源が将来負担額を上回っている。

これらの指標のうち、経済収支比率は93.4%でわずかながら硬直化が進んでいる。引き続き高い水準にあることから、経常経費の削減にさらなる努力と工夫が求められる。将来にわたって安定的な財政運営を維持できるよう、今後とも健全な行政経営と財政基盤の強化に努められたい。

代表監査委員 近藤英幸氏
議会選出監査委員 庄司史郎

基金

(単位:万円)

区分	決算年度末 現在高
財政調整基金	947,992
減債基金	303,943
土地開発基金	40,551
未来を担う人応援基金	98,840
振興基金	369,936
情報化施設整備基金	96,807
ふるさと真庭応援基金	35,006
真庭市立学校施設整備基金	37,073
真庭市認定こども園等施設整備基金	31,770
公共施設整備等基金	1,171,310
旧遷喬尋常小学校整備利活用基金	21,173
国民健康保険事業基金	72,543
その他	109,727
合計	3,336,671

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

総務常任委員会

委員長 加藤 大悟 委員 小田 康文
副委員長 西田 文子 委員 庄司 史郎
委員 岩本 壮八 委員 長尾 修
委員 緒形 尚 委員 中尾 哲雄

本委員会は、6月11日、8月21日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《危機管理課》

■ウクライナへの緊急車両の提供

危機管理課から「ウクライナへの緊急車両の提供」について、説明がありました。

ロシアからの侵略を受けているウクライナに対し、岡山県の呼びかけに応え、処分する予定であった救急車1台と小型動力ポンプ積載車1台を無償提供し、人命救助と復興を支援します。これは、6月24日にウクライナの駐日大使が、岡山県の伊原本知事を訪問された際に、資機材が慢性的に不足していることから、使わなくなった救急車や消防車の寄附を要請され、岡山県が県内の市町村へ呼びかけたことによるものです。

今後のスケジュールは、譲渡事務手続きのあと、提供する車両を岡山県が手配した運送業者が引き上げ後、車両点検を行い、ウクライナ大

使館が手配した船舶で輸送し、11月頃にウクライナに到着、引渡しの手続きです。

なお、岡山県と在日ウクライナ大使館との間で提供する車両については、人命救助活動や復興に寄与することを目的とするよう調整されています。

問 岡山県内で何台くらいをウクライナへ送る予定であるか。

答 現在岡山県が取りまとめ中のみと聞いている。



ウクライナへの緊急車両の出発式 岡山県庁

《総合政策課》

■まにこいんの進捗

総合政策課から「まにこいんの進捗」について説明がありました。まにこいんは、市民に身近なアプリとなるようスーパーアプリ化を図っています。現在、様々な情報やアプリを活用していくための連携基盤、実装作業を進めています。

直近の動きとして、7月16日からチャージキャンペーンを実施しました。ローソンのATMでチャージが可能となったことを受け、チャージへの意識づけや、流通量の増加につなげるため、短い期間でしたが、実施しました。期間中のチャージ実績が3,500万円弱で、今後、消費活動に繋がっていくことを期待しています。ユーザー数は増加の速度が落ちついていますが、チャージキャンペーンの影響もあり、7月はこれまでよりもユーザー数が増加しました。

8月から開始したくらし応援キャンペーンは、こちらも流通量の増加や日常利用の浸透拡大を目的として実

施します。今回はポイントの受取上限を設けずに実施し、高額な商品などにも関心が広がっていくことを期待をしています。

事業者応援キャンペーンは、事業者の売上げ額に応じて手数料負担を減らし、利用促進に向けた動機付けを図ることを目的としており、くらし応援キャンペーンとの並行実施により、相乗効果が生まればと考えています。使える店舗を増やすため、こうしたキャンペーン周知にも努めながら、商工会等とも引き続き連携して増加につなげたいと考えています。



まにこいんアプリの画面

問 利用できる店舗の加入者数を増やすために、具体的にどのようなことを考えているか。

答 これまでも商工会と連携して加盟されていない店舗に足を運んで営業をしている。こういった地道なことで、キャンペーン等を通して、加盟されていない事業者の方には少しでも前向きに考えていただきたいと考えている。

文教厚生常任委員会

委員長 妹島 弘和 委員 氏平 篤正
副委員長 黒川 愛 委員 大月 説子
委員 浅野 和昭 委員 古南 源二
委員 伊賀 基之 委員 福島 一則

本委員会は、6月13日、8月20日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《教育委員会》

■学校給食費

教育総務課から、学校給食費のあり方について説明がありました。

今後の学校給食のあり方について、教育委員会として一定の方向性を現在検討しています。教育委員会事務局が、今年、5月から7月にかけて共同調理場の運営委員会などでPTA等から意見の取りまとめをしました。全体的には無償化への要望の声は少なく、一定の保護者負担は認めつつも、保護者も子どもも給食を通じた学びや安全安心な食材提供への要望が多くありました。また、量と質の確保のためには値上げは仕方がないといった意見や、物価高騰に対する真庭市の支援等には満足しているとの結果が出ているとのことでした。

問

令和7年度の見込みで1食あたりの保護者負担額が物価高

騰等の影響で上がった場合、市が負担する金額はどうするのか。

答

保護者負担額を、今までどおり270円のまま維持するかどうか、教育委員会等で経済情勢も含めながら検討する。



子ども達においしい給食を 食育センター

《健康推進部》

■久世第二こども園（仮称）建設基本計画

子育て支援課から、久世第二こども園（仮称）建設基本計画について説明がありました。

建設予定地は、旧真庭高校久世校地で土地所有者の岡山県と無償で使用貸借契約を結ぶ予定です。園舎の延床面積は1,500㎡から1,700㎡、園庭は1,500㎡程度で木造平屋とし、利用定員は150人です。0歳児から5歳児まで2室ずつと、一時保育室、療育的ケア児保育室を確保します。調理室は共同調理場機能を有し、久世地区の他の園の給食を調理・配送する想定です。開園の時期は、令和9年4月を予定しているとの説明がありました。

問

療育的ケア児の保育の希望があれば、保育する場を確保する体制なのか。

答

その様な体制で、開園に向けて準備をしたい。

問

保護者に、開園予定時期を、今年の10月の入園申込に周知はできないか。

答

10月の入園申込案内に記載し、周知する。

《生活環境部》

■第5次男女共同参画基本計画

くらし安全課から、第5次男女共同参画基本計画策定について説明がありました。

第4次男女共同参画基本計画が令和7年度で終了することから、第5次の計画策定に向け、今年度から準備を進めます。今年度は、市民を中心に男女共同参画に関する意識調査を行い、調査にまにこいんアプリを活用します。



築50年が経過している久世第二保育園 台金屋

産業建設常任委員会

委員長 柴田 正志 委員 妹尾 智之
副委員長 森脇 正和 委員 森田 敏久
委員 伊藤 義則 委員 吉原 啓介
委員 入澤 廣成

本委員会は、6月12日、8月22日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■真庭の農業戦略に向けた調査・分析事業について

農業振興課から、真庭の農業戦略に向けた調査・分析事業について、説明がありました。

昨年は、生産、販売・消費、人材育成、調達と4つの部門に課題を分け、これをバックアップする支援体制組織と、情報の集約を図っていく受け皿をつくるという論点を整理してきました。今年度は、農業課題解決支援の受け皿を立ち上げる合意形成を目標にしています。畜種のほうでは既存の農業体の経営の強化も含めて「今後誰に引き継いでいくのか（第三者継承）」という論点をさらに深掘りしていくかと思っています。

第三者継承の為の窓口情報集約機能を市役所のほうに設置してほしいという声があり、まずはアンケート



真庭の農業が続いていくために

やヒアリングを通して市役所に情報を集め、窓口機能を設置する事を目標にしています。

問

営利団体の足並みがそろわないことがある。そこに行政が関わるかは難しいと思うが、その辺の整理についてはどうか。

答

北房にこの話を持っていくと北房の話が、蒜山に持って行けば蒜山の話と、地域ごとに抱えている課題、問題意識は違うと感じている。実際に受け皿を現場に実装していくときに、画一的な仕組みでやっても、うまくいかないと感じている。最終的には、その地域で活躍されている方ごとに、うまくいくような形で論点を整理していけばよいと考えている。

■小水力発電事業の推進に関する連携協定について

地域エネルギー政策課から、小水力発電事業の推進に関する連携協定について説明がありました。

協定を結んだのは、真庭市と株式会社森とみずのちから及び株式会社両備エネシスの3者です。小水力発電の推進により、新たな再生可能エネルギーの開発はもとより、地域の資源循環による地域の活性化、あわせて脱炭素社会の実現など目的として実施をしていきます。

問

事業資金の構築を進めていく上で、信託方式を採用するようなスキームまで、今の段階で構想は持っているのか。

答

他所の事例だと信託会社が間に入って、資金の調達などされている。この株式会社森とみずのちからの小水力発電を担う担当の方が実はその信託会社の方



笹川小水力発電所 富山県朝日町

問

関係の方である。そういったスキームは全国で500箇所以上やられている方なのでノウハウは持たれている。そういった信託を利用した形での資金の調達は十分に考えられると思われる。

答

この事業はFIT制度で売電を考えている。有事の際には、地域の中で電気が使えることも検討しながら、防災力の強化も焦点に入れていることを考えている。

一般質問

9月定例会の議事録は
12月上旬から閲覧できます
・二次元バーコードをスマホ等で読み取ると、
一般質問が視聴できます。
・一般質問の記事は、個人質問は800字以内で、
質問した議員本人がまとめています。

加藤 大悟

問



消滅可能性自治体から脱却
するためには、いくつかの重要な
政策が必要と考えるが、何を
どうすべきと考えているのか。

消滅可能性自治体から脱却
するためには、いくつかの重要な
政策が必要と考えるが、何を
どうすべきと考えているのか。

答 太田市長

2020年から2050年
まで若年女性が50%以上減
少するところが該当するが、
真庭市は51.9%である。前回の
推計より0.3改善しているが、



太田昇市長



三ツ宗宏教育長

これは改善
の内に入ら
ない。30年
間で50%若
年女性が減
るというの
は大変な話
である。

問

Society 5.0時代
に向けて

令和3年、文部科学省はイ
ノベーション白書の中でSoc
iety 5.0の実現に向けてと
して様々な政策を提言して
いるが、真庭市において今後
どのように進むべき道を描い
ているのか、将来ビジョンと
それを実現するために、どの

ような政策・施策を考えてい
るのか。



スマート農業 梶西

答 太田市長

林文科省大臣時に大臣懇
談会の委員として、Socie
ty 5.0社会における今後の教
育についてまとめた。

技術的な面ではAIに象徴
されるようにドンドン変わって
いくのは事実である。ただ、デ
ジタル田園都市国家であれ、
デジタル化すれば、日本が活
性化、地域が活性化できると
言うのはおかしいと思ってい
る。あくまでデジタルは一つの
ツールである。まにこいんにつ
いてもSociety 5.0タイプ
を認定されている。

ご視聴
下さい

MIT
真庭いきいきテレビ

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」
のサブチャンネル（122）で生中継しています。一
般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して
後日放送しています。また、GIKAI HEADLINE
は、真庭いきいきテレビYouTubeチャンネルで定例
会閉会2週間後から2週間視聴できます。MITのニュ
ースもご覧ください。

議会を傍聴下さい

真庭市議会の本会議・常任
委員会を間近で傍聴してみ
ませんか。議会広報の紙面
では、お伝えできてない議員の
生の活動が伝わってきます。

傍聴を希望される方は、議
会開催中に市役所4階にお
越しください。議場の入り口
で、住所、氏名、年齢をご記入
いただければ、簡単に傍聴席へ
お入りいただけます。傍聴席
は、30席用意しています。本会
議の様子は、真庭いきいきテレ
ビで生中継されています。議



議場に4台の
固定カメラがある



議会中継

太田市長(左) 近藤代表監査(右)

ダブルリボン月間

11月は「児童虐待防止・オレ
ンジリボン」と「女性に対する
暴力根絶・パープルリボン」の月
間です。私
たち議員も
上のリボン
を付け議会
活動を展開
します。



ダブルリボンバッジ



① データ画面の市からのお知らせ等情報を見ることが出来るが、詳しくは別添のチラシや、QRコードからご覧下さいとなる。画面の中で全て完結できないのか。

② ライブカメラは見た
場所を拡大して見えないか。
③ 真庭市以外の番組が多
いが、市民が望んでいる番
組なのか。

④月額利用料1,800円
は妥当な金額か。

答 太田市長

①②データ容量の問題がある。設備更新等計画的に行う。

③視聴者アンケートで繰返し放送の苦情があり、番組数を1日2本から10本に増やした。制作番組は無料のものを入れている。

④見直しも必要だが、できる限り負担増にならないように、悪かろう安かろうは駄目だ。

問

①わんぱく広場は急斜面に遊具が設置され、3歳の子どもには危険。遊具を移転してはどうか。

②川東公園や住宅地に落
合振興局にあるような遊具
を設置し、子育てする親に喜
ばれる事業に。

③久世校地跡地、利活用構想の若者住宅ゾーンに公園の計画はあるのか。

④夏の危険な暑さのため外に出ないよう注意喚起しているが、真庭で育つ子どものために屋内遊技場を建ててはどうか。



落合振興局の遊具 落合垂水

答 太田市長

①初めから傾斜を前提で造っており、年齢によっては遠慮してと書いている。斜面も一つの特徴。遊具の移転は考えていない。

②勝手に遊具を置くという
ようなものではない。地域と
十分検討していく。

③アンケートもしているが、公園等整備する計画はない。

④夏場も安全に、全天候型の遊び場について、全庁的プロジェクトをつくり、検討を始めている。

長尾
修

トンネル工事に伴う
水源の確保

米子自動車道完全4車線化は長年の要望活動が実を結び、真庭市側の主要工事である三平山トンネル約2.3kmの本格工事が始まった。近年の異常気象による水不足は顕著であり、真庭市の水道行政にとっても、今後の大きな課題だと思う。

そこで、この度の工事に伴う地下水を水質検査の上、良質な飲料水と認められれば、第2の水源として確保することが重要と考える。以前、関係者にも強く要望しており、真庭市としてネクスコ西日本にどのようなアプローチをし、現在どのような状況なのか伺う。

答 太田市長

工事が順調に進んでおり、真庭市議会も他の議会と一緒に動いたことも大きな力になっている。議員指摘のように将来、飲料水として水源として確保した方が良いという思いはそのとおりである。水質調査を



米子自動車道三平山トンネル予定地 蒜山上徳山

ネクスコ西日本のお金でしてもらいたい、使える水であるなら交渉する。水は世界的にみたらものすごい重要な資源だから、そういう真庭の資源は大事にしながら、必要を確保ができるものは先手を打つような考え方は、質問と同じなので対応していく。

吉原 啓介

問



施策検討におけるビッグデータ活用

携帯電話の位置情報やインターネット検索履歴等によって人の流れや行動、興味を持つ対象や選考等、恐ろしいほど詳しく分析できる時代となっているが、市としては施策の策定あるいは方向性検討においてこのようなビッグデータを活用、あるいは活用を検討しているのか。

答 太田市長

どういうデータがあるのか、それを把握して、またそのデータがどう活用できるのか、そしてまたその分析はどのようなか等、今後の行政を進める上で非常に重要。特に観光関係の人流調査は基礎的なものだ。

ビッグデータがあり、それを使えるのではないか、そしてまたそれを実際に使える人材をもっとつくっていかなければならないと思っている。

問

シェアオフィスの活用に向けた方策

市の直営施設であるシェアオフィス「蒜山ひととき」「コワーキングスペース」「ゆふイス」の稼働が残念なことにあまり芳しくないように見える。

利用促進に向けた方策の一つとして、人のネットワークづくりのための拠点化ということも考えられるのではないか。

一部の民間企業が行っているアルムナイ制度、大雑把に言うと、転職や独立のために企業でスキルアップした人材のビジネス連携をアシストし、時には再雇用するような制度だが、真庭市出身の、あるいは真庭に何らかの縁がある人たちが、自分たちのセカンドライフに向けた事業創出や情報交換のための場とするような仕掛けが検討できないものか。

答 太田市長

指摘のように、十分な活用というところまでいっていない。

議員の提案にもある真庭版アルムナイ制度の活用ということも、今後の検討としていく。



蒜山ひとときの活用促進を 蒜山上福田

浅野 和昭

問



スポーツ少年団への支援

真庭市全国大会等賞賜金交付規程によれば、「全国規模以上の競技会又はコンクール等に出場する個人又は団体に対し」とある。

保護者からは「子ども達が頑張った結果として貴重な体験ができる事は嬉しいが、親としては経済的な負担が大

さい。子育て支援をうたう真庭市の支援体制としては不十分ではないか。スポーツを頑張る子ども達や保護者の為にも、もう少し支援が必要ではないか」と相談があり、その必要性を感じた。せうかく賞賜金があっても、対象数が少なければ、子ども達の為にならないのではないか。

昨今の物価上昇を鑑み、子育て世帯の負担を考えると、スポーツ少年団に対する大会区分における交付対象の拡大、賞賜金及び加算金の増額、年度予算額について見直しが必要ではないかと考える。賞賜金規程の見直しについて所見を伺う。

答 太田市長

住民から言われたから、それは負担が少ないほうがいいねと、というような発想だけで見るのではなくて、限られた予算をどういう趣旨でどう使うのかという掘り下げた思考が必要だろうと思っている。今のところする気はない。

問

給食費無償化

岡山県内の自治体間でも公費負担の差が出てきた。令和6年8月時点で新庄村、新見市、奈義町、勝央町、久米南町、吉備中央町、総社市、備前市、早島町、瀬戸内市、赤磐市、和気町の12市町村が無償化（半額免除等を含む）を行っている。給食費無償化に向けて教育委員会が一歩踏み出す事は、真庭市が行うこともはぐくみ応援プロジェクトの一環にならないか。

答 三ツ教育長

学校給食費は学校教育法によって保護者負担とされている。真庭市単独で給食費の無償化を行う方向にはない。



楽しい給食を 教育総務課提供

妹島 弘和

問



人口減少問題

8月7日に開かれた岡山県市長会議において、「真庭市とか県北は死にそうなんです」と切り取られた市長発言のニュースを耳にした。

私たち市民も人口減少問題には強い危機感を有している。真庭市に想定される問題点を共有し、この由々しき事態を市民一丸となって知恵を出し、行動に移す契機とした。市長の見解を伺う。

答 太田市長

本当に危機感を持っている。人口減少は日本全体の問題であり、明治維新から150年で4倍に膨れ上がるほうが異常なのかもしれない。都市部と農山村部の過疎と過密が本当にひどい。それがまだ進む。農山村では鉄道・医療・教育問題を含めて基盤が掘り崩されている。人口はじわじわ減って生活基

盤が掘り崩されているにも関わらず、あまり危機感が出ていない。それは毎日、頑張っているが、だから余計に怖い。

高校は教育基盤だが、高校を卒業した方が真庭の林業・農業を支える中心の方だった。だから、教育基盤と産業基盤とも本当に密接に関係している。そういうことで死にかけているという表現を使った。

問

業務案内板の設置

例えば市民課、環境課という名称表示は執行部感覚のものである。市民の目的は戸籍、パスポートの申請であり、ごみに関することを聞き



広島県廿日市市役所の業務案内板

たいのである。市民の来庁の目的に合う大きな文字が目に見えるようにすれば、窓口が非常に分かりやすい。

そこで、市民に分かりやすい業務案内板を設置し、窓口のリニューアルを行う考えはないか、市長の見解を求めらる。

答 太田市長

市民にとって分かりやすい市役所ということで、職員もいろいろ工夫をしているが、もう一度、市民目線で考えていく。

庄司 史郎

問



業務ミス頻発の情報公社の改革は

ここ何年か岡山中央総合情報公社の業務ミスにより、市民に迷惑をおかけする事態が相次いでいる。今後も続くようであれば、行政に対する市民の信頼を損なうことにもつながり、ひいては行政不信を招く恐れもあると思う。度々起こった処理ミスは何

が原因か。組織的な管理、運営体制に問題があるのではないか。



美咲町にある岡山中央情報公社

答 太田市長

最大の契約者の真庭市として責任があると思っている。組織体制がきちんとできていないというようなことからミスが連発した。理事長もしているが、真庭市として公社の健全な成長に向けて努力していく。

答 木村総合政策部長

チェック体制というのが人員の関係もあって、うまくいっていないというふうに聞いている。組織体制も公社の方で改革を進めていると聞いている。事あるごとに、こちらもチェック体制を強化しながら対応していきたいと思っている。

問

指定管理者制度の運用改革を

収益施設で赤字を毎年出している施設がB評価で適正であるとなっているが、C評価の改善・指導措置を実施するという評価が正しいのではと思うがどうか。

実態を正確に表している評価表になっているのか見直しをと思うが、どのように考えるか。

答 太田市長

評価表の関係については、そういう質問があったということ、評価する側の方々に伝えるし、私も不断の見直しをする。

答 木村総合政策部長

収支の状況も一つの評価項目だが、指定管理者が自主事業でどれだけ頑張っているとか、社会貢献、地域貢献、そういったものを総合して評価点を付けている。赤字であるからC、Dというものではないということを理解いただきたい。

黒川 愛

問



災害に強いまちづくりを

①自主防災組織の活動は地域差が生じている。地域ごとに小規模で多く取り組むには人手が必要。振興局と連携の際は、防災の優先順位が下がらないよう、予算や人員の追加配置を。防災出前講座は土日祝限定になった。講座や訓練を受けやすい取組みを。②真庭市の指定避難場所には、安心して避難するには使づらい場所がある。整備や改修の補助金設置を。③災害時は障がい者やお年寄り、女性などが辛い状況に追い込まれやすい。インクルーシブ防災、社会的弱者への配慮を含め、合併前の旧町村資料のアーカイブなども行い、真庭市防災計画の見直しを。④福祉から防災を考えることは大切。災害時には多くのボランティアや市民団体が復旧復興の力となる。真庭市社会福祉協議会との積極的な連携、取組みを。

答 太田市長

①広い真庭市で自主防災組織も大きい。学習会とか、ウィークデイしか出られない方へは別途実態を踏まえて考える。②避難場所はお寺もお宮もあり、一時的に改修できるか、難しい点はある。どうしてもここはしななければならぬということがあれば、個々に対応させてもらう。③色んな事情のある方々の観点から避難所整備や、地域防災計画の修正を行う。④社協の役割はますます重要。連携する。

問

ひとり親家庭に手厚いサポートを

相談に行きづらい方もいる。どんどん相談に来ていいんだと、ウエルカムな姿勢で相談窓口のPRを。独自の支援策を強く打ち出す自治体もある。オンライン、デザインや介護など、真庭市にあった就労支援策を。移住施策では、真庭市はひとり親家庭ウエルカムという姿勢を。



こども家庭センター 市役所内

答 太田市長

ひとり親家庭、予想し難い色んなことがあると思う。特に気に留めた対応をしていく。

伊藤 義則

問



指定管理制度の課題

真庭市には指定管理施設が32施設あり、所管部署のみでみると産業振興施設が50%を超えている。

①指定管理者の指定について、応募者が少なく継続が多いが見解を伺う。

②インフレの時代に入るとしている。コスト上昇分だけでなく給与も上がると



指定管理施設 道の駅醍醐の里 鹿田

想定されるがどう対応するのか。

③指定給与管理施設も公共施設です。老朽化している施設が多いがどう対応するのか。

答 太田市長

①競い合って、アイデアを出し合う企業が少ない真庭市の場合やむを得ないが、本来の目的達成のため不断に改革改善を保ち続ける。

問

第三セクターの課題

②給与の上昇、跳ね返りが当然だと思っている。③施設を長期的に維持管理するほうが経営的にプラスになるという観点を持って対応する。

真庭市の第三セクターは7法人ある。これらの法人は真庭市の経済や地域社会に貢献している。一方で真庭市からの補助金に依存している一面もあり、負債額が総資産額を上まわるとしている法人がある。予実管理は出来ているのか。

答 太田市長

厳しい経営のところがある。ある程度補填しているが、この事業も含めての貢献をしている。

答 木林産業観光部長

経営改善の取り組みを一緒に行っている。

妹尾 智之

問



指定避難所の保健衛生環境の充実を

国の中央防災会議は、今年6月、災害対応の基礎となる防災基本計画を修正し、今回の能登半島地震で高齢者ら要配慮者が数多く被災したことを踏まえ、災害応急対策に福祉的な支援の必要性を明記した。市町村に対して、



災害時、避難所に設置可能なトイレカー 展示会から

避難所の開設当初から間仕切りと段ボールベッドを設置することや栄養バランスの取れた食事、入浴、洗濯などの生活に必要な水の確保に努めるよう要請している。指定避難所の保健衛生環境の整備については、仮設トイレなど早期設置に加え、簡易トイレ、トイレカー、トイレトレーラーを明示し、より快適なトイレの設置に配慮するよう努めることを市町村に要請した。本市においては、災害応急対策の福祉的な支援

及びトイレカー、マンホールトイレの充実が必要と考えるが、保健衛生環境の整備について、今後の本市の取組について市長の所見を伺う。

答 太田市長

協定を結んでいる市内業者が、マンホール用トイレ、仮設トイレなどを50基以上所有していることで、緊急対応ができる。トイレが全部避難所で使え

ないことはないと思うが、災害には対応できる体制を組んでおり、もう一度再検討もする。

答 今石危機管理監

工事で使われているトイレも業者がそれをトラックにセッティングして貸し出すこともある。有事のときには、そういった動きも当然できると聞いており、協定も結んでいる。昔のトイレは環境が悪い仮設トイレもあるので、業者もできる限り改善する意向を持っており、協力しながら進める。

緒形 尚

問



地域の実情に応じて対応する

9年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校の設置を可能とする改正学校教育法が施行された。メリットとして、これまで一般的だった小学校6年間、中学校3年間の6・3制を、市教育委員会の判断で4・3・2制、5・4制などに変更できる。学年の

区切りを変えることで、小学生から中学生へ段階的にステップを踏めるよう工夫することが可能になるため、中1ギャップを防ぐ効果が期待される。学習内容が難しくなっても、きめ細かな生活指導ができると考えている。

異なる学年同士との交流が増え、責任感や自己肯定感の向上が期待されるなど、多くの利点があり、近年県下でも義務教育学校の設置が増えつつある。子どもたちを取り巻く環境の変化に応じて柔軟に制度を変えていこうとする革新的な試みと言える。真庭市でも、義務教育学校の設置に向けた検討を行うべきと考え、教育長の所見を伺う。

答 三ツ教育長

学びの環境をどう高めて持続可能なものにするかは、重要な課題だと認識している。市教育委員会では、何をもちて検討というか難しいが、先進校視察等はいながら、制度の活用、設

置手順とか、運営などの研究はしている。

義務教育学校は、あくまでも一つの学校制度だと思っている。それを選択するしないにかかわらず、地域と学校、この現実を直視しながら、将来に向かってどうしていくのかを議論していくことが大事だと思っている。

市内で、具体的に義務教育学校の設置を検討していく際には、真庭市は多様であるから、市内一律という考えではなく、地域の実情に応じてしっかりと対応しながら関係者との連携の下で進めて行きたいと思う。



令和5年4月に開校した義務教育学校「旭学園」 美咲町

伊賀基之

問



公共施設の取壊しで 備品等の処理は

①校舎を取壊した場合、ある小学校の図書は3分の2が燃えるゴミになった。ある小学校ではブランドピアノをバラバラにして産廃にした。再利用など住民の納得のいく対応を②今の規則では、施設が廃止になったら返すという約束をしていないと寄付者に返せない。ある小学校では、地元団体が寄付したエアコンでも譲渡できないとの回答。見直しすべきではないか。



旧津田小解体工事 巨土

答 武村教育次長

①学校備品は、普通財産になれば、振興局管轄によつて、市のフロアに沿つて手続を

進めていくことになる。

答 金谷総務部長

①ピアノであれば類似の施設で使えるか、最終的には売却もできる。当時の状況がはっきり分からないが、そのときに適切に処理していると思つている。②使わなくなつたら返してほしいと確認してないと、管理で不都合があつてもいけない。

問

給食費の補助額は 早急に引き上げを

給食の保護者負担額は令和2年度より変更されてない。令和5年度より1食当たり20円を市が補助している。令和2年から6年5月までの物価上昇率は16.8%である。給食関係者が工夫しても、内容を落とさざるを得ない水準である。補正予算等を考え、補助額を早急に引き上げるべき。

答 三ツ教育長

今すぐ質と量が担保できない状況ではない。状況に応じては、素早く考えていくこ

とも当然あると思つている。

問

重度精神障がい者へ 医療費助成を

来年度より県は精神障がい者1級の方も医療費助成の対象にする。真庭市も対象とすべき。また適用の範囲を広げるべきでは。

答 太田市長

真庭市も来年4月より必要な措置をとる。適用範囲の拡大は今後の検討課題とする。

大月 説子

問



できる限り地域計画 を策定する

改正農業経営基盤強化促進法で各市町村に農地計画の策定が義務付けられ、策定期限は来年3月末。計画が期限内に策定できなくても罰則はないとはいえ、各種補助事業の要件となる可能性があるため早期の策定と市民周知が必要。

そこで①推進体制②進捗状況③目標地図の活用について伺う。

答 太田市長

罰則規定はないが、できる限り地域計画を策定したい。

①策定に当たっては農業関係者との話し合いや調整が必要で、農業委員や農地利用最適化推進委員の協力を得て、農業委員会事務局だけではなく関係する職員が横断的に協力し合つて説明会も実施している。更に、農地の所有者向けに農地の利用、貸付の意向を聞き取るアンケートを実施して地図を作つて話し合いに活用するサポートもしている。

②進捗状況は

地域によつて違う。人・農地プランの策定に取り組んでいるエリア、認定農業者等の農業者が多くなるエリア、中山間地域等直接

支払交付金とか、多面的機能支払交付金を活用して集落で農地の維持に取り組んでいる所では、今年度中に策定ができる予定。

答 木林産業観光部長

②今年度は、振興局も地域計画の策定のお願ひに回つている。

③目標地図をデジタル地図に落とし込んで、誰でも見えるようにしていきたい。



地域計画の話し合い中 農業振興課提供

森田 敏久

問



高大連携と真庭市の関わり

大学入学志願者数は減っており、市内の公立高校も受験者数の減少、定員割れが続いている。両者の共通課題に対し自治体と大学が連携し、高大連携を強化することが必要と考えるが見解を伺う。

答 太田市長

臨時議会で創設した基金を活用し、真庭高校と大阪大学の連携による調査研究事業の補正予算を今議会に提案している。こうすると高校生も勉強意欲が出て、高校そのものの存在も出てくる。

他に大学コンソーシアムに真庭市も入り盛り上げていき高校と大学の連携をしていく。

蒜山にコンソーシアム組織を活用し真庭の価値を上げ、高校活性化も意識しながら連携を模索していく。また北房で同志社大学の先生

が勉強の機会を作ってくれ、中学生も含め知的好奇心が増している。大学がないから故、知的な部分の雰囲気作りが大切である。高大連携、地域との連携の中で知的雰囲気をもっと作っていく。

問

真庭市との大学連携

自治体にとって大学連携は多様な政策目的達成に活用でき、学生等の参加により、若い人材の協力も得られる。地域活性化・地域課題解決に取り組むため積極的に包括協定を結ぶべきと考えるが見解を伺う。

答 太田市長

真庭市で既に13の大学と包括協定を結んでおり地域課題解決に使っている。例えば来た学生がそのまま真庭に就職し、今活躍してくれている。教員養成課程に行つて意欲をもつて卒業した方が地域の先生になつていくという成果もみられる。

学生が例えばワーキングホリデーで、週4日働いて3日勉強する。年間ずっと50人で

もいいから常時真庭にいたいというのは、非常に地域の魅力だと思っている。

岡大の林業関係の研究の大学院生が40人いる。施設が移ればそれだけ来る。



岡山大学との包括連携 秘書広報課提供

柴田 正志

問



大規模災害に備えたトラックトイレ

今後は全国の自治体でトラックトイレを確保し、大規模災害には相互に助け合う取組が重要になると考える。真庭市におけるトラックトイレ導入について伺う。

答 太田市長

1台1,000万円もする

ものを維持するのは困難である。市内の業者と防災協定を結んでいる。マンホール型のトイレ、仮設トイレなどを50基以上所有していることもあり対応できる。

問

中心市街拠点のまちづくり

経済活動が活発で所得が高いこと、中心市街地に魅力的なエリアがあることは住みたい町につながる有効な人口減少対策と思う。①中心部のまちづくりを力強く推進するためには「立地適正化計画」の策定をすべきと考えるがいかがか。②いまだ整備率が27.8%の都市計画道路の見直しについて伺う。

答 太田市長

①人口減少の中での変化も見据えながら住み続けることができて、各地域の多様性が相乗効果を出せることを意識した計画と思う。②都市計画道路は落合と久世と勝山で時代に合った見直しはされていない。消すべきものは消すことで整理をする。できれば

ば1か所でも2か所でも、ここがまちの街路と言えるものを作りたい。

問

鹿による苗木被害

今年度になって植林をした苗木が鹿によって食べられる被害が出ている。木の伐採は進むが造林が進まないとなると将来の山は経済林のない雑木ばかりの山となり林業が成り立たなくなることが予想される。このような状況をどう考えているのか。

答 太田市長



防護ネット柵 産業観光部提供

鹿の絶対数を減らす以外にないと思っている。どういう効果的な防護対策があるか美甘地区で実証実験に取り組んでいる。

GIKAI NO UGOKI

議会 の

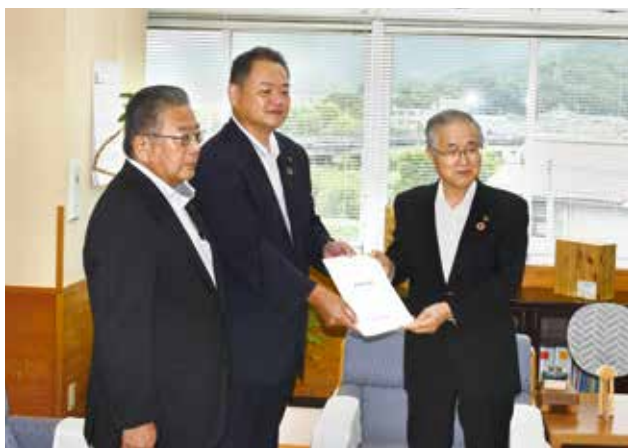
動き

7月 8月編

政策提言書を議長から市長へ

真庭市議会では8月20日、総務委員会でまとめた「移住者への支援強化」と産業建設委員会でまとめた「真庭の農業の存続と振興に向けて」の2テーマを盛り込んだ政策提言（文教厚生委員会は今回見送り）を小田議長・妹尾副議長により市長に対し手交しました。

この提言は2年かけて各委員会で練った提言を7月開かれた政策討論会で全議員の一致を見たものです。具体的には「お試し住宅」の利用促進、空き家を活用した住宅整備、各地域内へ「移住案内人」の設置、人材の育成や情報・実務面での支援など農業運営の総合サポートを持った組織仕組みの構築推進といった内容です。



政策提言書を手交 左から妹尾副議長、小田議長、太田市長

真庭市議会議員研修会開催

8月1日、市役所4階委員会室で真庭市議会議員研修会が開催されました。講師は、株式会社両備システムズにお願いしました。今回は、生成AIに係る勉強会で生成AIの概要や動向、注意点について学びました。まず生成AIとは、インターネットを中心に膨大な量の情報を学習し、新しいコンテンツを自動的に生成する能力を持つ人工知能であること、どんなところで使われるかを学びました。次に一般的な活用例と注意点これからの活用方法を学び有意義な研修会でした。



真庭市議員研修 4階



岡山県議員研修 高梁市

市民参加で議員のなり手と議会改革 県市議会議員研修

令和6年8月8日に第54回岡山県市議会議員研修会が高梁市総合文化センターで、講師に東北大学大学院情報科学研究科の河村和徳准教授を招き「議員のなり手不足と地方議会改革」と題して、講演がありました。各地の事例紹介をまじえ、議会をめぐる状況や、歴史を通しての議員のあり方から、立候補しやすい環境を整えると、なり手不足解消の可能性はあること、議会改革は主権者教育を進め、政治や行政に関心をもつ人を増やしデジタルとアナログでの市民参加次第だと接点を重視されました。

文教委員会が勝山こども園と富原保育園を現地視察

7月22日に各園に視察し、園長から概要説明を受けて施設を案内されました。勝山こども園では委員から、保護者と職員が利用する駐車場の問題について質疑があり、不足しているが送迎時の停車は短時間中で行っていると対応を説明されました。富原保育園では委員から、職員5名より園児数が4名と少ないが、少人数による園児への影響はないかと質疑し、みんなが仲良く、影響は出ていないと説明を受けました。



園長から説明を受ける委員 富原保育園

議会改革は更なるステージへ

MANIWA

SHIMIN
NO
HIROBA

市民 の 広場

敬称略

ここは市民みんなでつくるページです

▼大塚国際美術館制作

議会広報編集特別委員会

◎浅野 和昭
○森脇 正和
氏平 篤正
加藤 大悟
西田 文子
森田 敏久



北房振興局ロビー壁画 9.5m×0.9m

声

●娘が真庭高校3年生です。妹2人も高校進学はこれから考えますが、真庭高校がそのままあってくれたらありがたいと思っています。少人数になりましたが、歴史のある自由に学べる良い高校です。 岩浅光子
●JRの株、高校存続、市の課題を表紙に分かりやすく載せてあり、興味深く読みました。真庭で暮らそうの写真集はホッとしました。 行本京子



湯原のハンザキキモかわいいTo



台風10号に登場した久世街裏堤防の陸閘(りっこう) すごいTo

赤唐辛子 湯浅真佐



森の芸術祭 11・24(日)まで

真庭／蒜山エリア GREENable HIRUZEN



旭川河川敷スケボー広場(久世げー)



勝山町並み保存地区 (サテライト会場) J R 姫新線中国勝山駅



森西氏

ふるさとの秋 小林みち江



募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。声は氏名を載せることにしています。 応募先▶真庭市議会宛先:20ページの帯欄に記載しています。

夏をまるかじり T.S.

ホームページをご覧ください



ホームページ

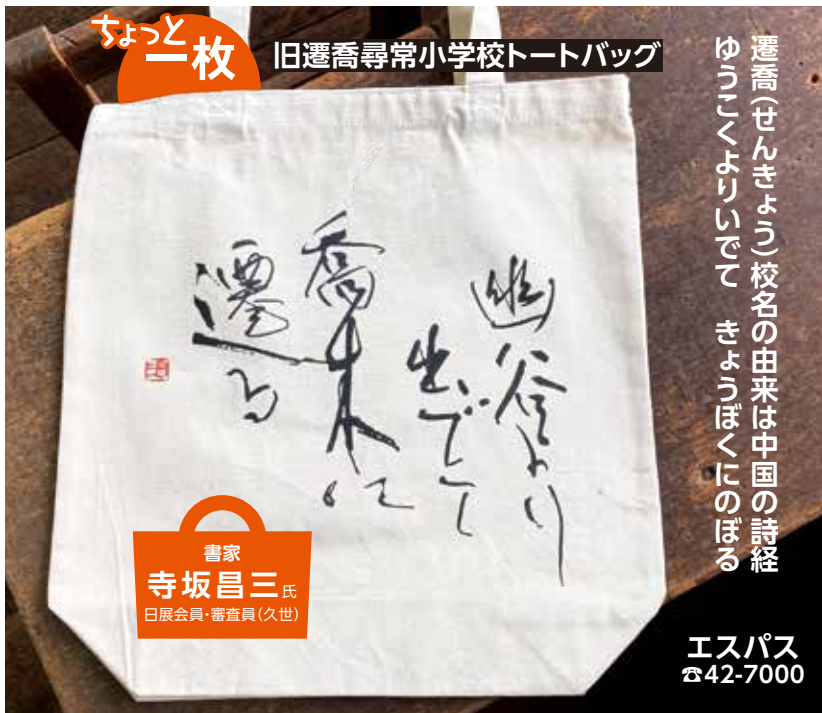


フェイスブック

3月定例会の請願と陳情の受付は1月31日(金)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

3月定例会の請願・陳情は 1月31日(金)まで



遷喬(せんきょう)校名の由来は中国の詩経
ゆこうよりいでて きょうぼくにのぼる

エスパス
☎42-7000

提供…JA晴
れの国岡山

問題 高校魅力化に



円基金を創設



勝山のいも 銀沫

正 解者の中から8人に「勝山のいも銀沫」が当たります。はがきに答えと住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

締め切…11月29日(金) 消印有効。前号の応募総数は51通で、正解者は49人でした。ご応募ありがとうございました。



■会議は通常午前9時30分に開会します。■正式には11月25日(月)の議会運営委員会で決定します

12月3日(火) 本会議(開会・議案上程・提案説明)

6日(金) 本会議(一般質問)

9日(月) 本会議(一般質問)

10日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)

11日(水) 12日(木) 13日(金) 常任委員会

16日(月) 予算審査特別委員会

20日(金) 本会議(委員長報告・採決・閉会)

12月定例会は 12月3日(火)から12月20日(金)



福岡・大分視察研修記

令和5年10月16日早朝8時市役所を委員8名、執行部1名、議会事務局1名の総勢10名の構成で出発した。

新幹線で九州に行くので事務局の運転で一路JR岡山駅をめざす。9時30分に到着したが10時06分の出発なので皆急ぎ足でホームに向かった。それと言うのも駐車場でトラブルが発生したからである。その原因をめぐって議論発生。どうやら委員長に責任が所在するとの大方の意見で恐縮する。

ままよとばかりに新幹線に乗り一路博多駅をめざす。到着したとたん昼食にありつく。1時30分から福岡市役所で「市民のためのDX戦略」について研修。熊本市で1泊し、午前7時45分宿舎出発。3時間レンタカーでの移動なので途中3回ほど小休止をとった。そのせいか目的地の竹田市役所についたのは10時25分、研修は10時30分からなので、またもや走りこむ。

エレベーターで3階の委員会室前についたのは丁度10時30分、慌てて駆け込んだ。そこでは議長が優しいお顔で迎えてくれた。

議会おもしろ話

●前号隣県A市の話：議会だより記載内容で争う市長と議会。市長が発案権の侵害だと県知事に審査を申し立てたが棄却された。議会側が正しい(氏平)